

第2学年 国語科学習指導案

児童 2組 男13名 女15名 計28名
指導者 松井康博

- 1 単元名 「友だちのこと、しりたいな」(光村図書 2年下)
- 2 単元について

(1) 目標

- 友達のよいところを見つけ、構成を考えて、友達を紹介する文章を書くことができる。
- 書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うことができる。
- 大事なことを聞き落とさないようにしながら、興味をもって聞くことができる。

(2) 指導にあたって

本単元は、「友達のよいところを紹介文に書き、みんなで読み、感想を伝える」学習である。友達のよいところを思い出したり、相手に尋ねたりして材料を集め、材料の中から、紹介したい内容を取捨選択し、さらにその順序を考えることによって、児童は文章の構成を学ぶよい機会となる。この学習を通し、「興味をもって人の話を聞く力」「書こうとする題材に必要な事柄を集める力」をつけたいと考え本単元を設定した。

児童はこれまで「たんぽぽのちえ」「スイミー」「お話のさくしゃになろう」で「はじめ」「中」「おわり」の構成を学んできている。また、題名から作品の内容を考えたり想像したり、人物の会話や表現の工夫からお話の内容のおもしろさなどにせまったりする学習をしてきた。しかし、自分の考えたことを発表したり、文章に表すことに抵抗を感じている児童も多い。

指導にあたっては、「紹介文を書く」という活動を通して、最も大切にしたいのが、児童が楽しんで書くということである。書くことがおもしろいと感じながら主体的に取り組むことができるようにしていきたい。また、楽しいだけで終わるのではなく、児童に書く力をつけるために、教科書で提示された紹介文を丁寧に分析し、紹介文の書き方のポイントをしっかり確認していきたい。

紹介文は、他の情報も加えて工夫したパンフレットにして、友達と読み合ったり、発表をするなどして学習意欲の継続と達成感をもたせることで、書く活動への関心を高めていきたい。

(3) 指導計画 (8時間)

- 第1次 学習のめあてを理解し、学習計画を決めることができる。 (1時間)
- 第2次 友達のよいところがみんなに伝わるような文章の書き方を理解し、メモをもとにしながら、構成に注意して紹介文を書くことができる。 (6時間) 本時は5/6
- 第3次 お互いの紹介文を読み合い、書き方や内容について感想を伝え合うことができる。 (1時間)

(4) 評価規準

- 友達のよいところを意欲的に探し、紹介文を書こうとしている。(関・意・態)
- 見たり聞いたりした身の回りの出来事、自分が経験したことから題材を決めている。(書く)
- 内容のまとまりごとに幾つかに分けて配置することを意識している。(書く)
- 書き方や書かれた内容について感想をもっている。(書く)
- 質問やその答えなど大事なことを落とさずに聞いている。(話・聞)
- 句読点やかぎ(「」)の使い方を理解し、正しく使っている。(知・理・技)

3 本時の指導

(1) 目標

- メモをもとにしながら、構成に注意して、紹介文の下書きを書くことができる。

(2) 研究の視点に関わっての工夫

- ◎視点1－集めたメモからより伝えたいことを選び、色分けしたカードに書いて並べることで、紹介文の内容や順番を明確にし、友達のよいところがみんなに伝わるような紹介文をイメージできるようにする。
- ◎視点2－紹介するペア同士で対話したり、全体で話し合ったりする活動を取り入れることで、より伝えたいことを明確にする。

(3) 展開

| 段階 | 学習内容と活動 | 支援(・)評価(◆) 仮説(◎) |
|----------|---|---|
| つかむ | 1 前時の学習を振り返る 2 課題をつかむ しょうかい文を書こう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今までに書いた何人かのメモを紹介し、いよいよ紹介文を書くことへの期待と意欲を膨らませて学習に向かわせる。 ・何のために紹介文を書くか、書く目的を再度確認し、書く必然性を明確に持たせる。 |
| 5 | | |
| 自分の考えを持つ | 3 見通しを持つ (1)教材文を読み、紹介文の書き方を確認する。 (2)書き方のポイントを確認する。 ○紹介したいことを2つ選んで色カードに書く。 ○1つは「尋ねたこと」から(青色)。もう1つは「思い出したこと」から(緑色)。 ○「つなぎの文」はオレンジに書く。 ○「自分の思い」はピンクに書く。 4 自力解決する (1)つなぎの文をみんなで色カードに書く。 (2)紹介したいことを取材メモから2つ選び、色カードに書く。 (3)書いた4枚のカードの並べ方を考える。 (4)伝えたいことが一番分かるような題名を考える。 ○「～な○○さん」など。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教材文は「尋ねたこと」「つなぎの文」「思い出したこと」「自分の思い」の4段落(4つの部屋)で書かれていることを再確認する。 ◎集めたメモからより伝えたいことを選び、色分けしたカードに書いて並べることで、紹介文の内容や順番を明確にし、友達のよいところがみんなに伝わるような紹介文をイメージできるようにする。(視点1) ・メモを取捨選択し、4色4枚のカードを完成させることで、書くことを整理させる。 ・「つなぎの文」はみんなで一斉に書き、一字下がり書き出すことなどを確認する。 ・活動が終わった児童はチェックカードでカードの文を見直しさせる。 ・早く終わった児童には、他に紹介したい友達のよさを色カードに書かせる。 ◆メモをもとにしながら、構成に注意して、メモを考えることができる。(学習シート) |
| 20 | | |
| 学び合う | 5 みんなで学び合う (1)書いた文をペアで対話する。 (2)書いた文を全体で発表し交流し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、選んだ構成メモを発表し合い、より伝えたい内容、伝えてほしい内容について考えさせる。 ◎ペアで話し合ったり、全体で話し合ったりする活動を取り入れることで、友達のよいところがみんなに伝わるような内容や書き方のよさに気づかせる。(視点2) ◆話し合いを通して、内容や書き方のよさに気づくことができる。(発表) |
| 12 | | |
| 振り返る | 6 学習を振り返る 7 次時の学習内容を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習について振り返り、自己評価をさせる。 ・ペアでの対話を通して、気づいたことを発表させ、本時のまとめとする。 ・次時は、構成メモから、紹介文を清書することを知らせ、意欲につなげる。 |
| 8 | | |